

会 議 結 果 の お 知 ら せ

宮古市地域経済活性化連携会議令和7年度第3回会議を次のとおり開催しました。

令和8年3月31日

宮古市地域経済活性化連携会議

1 開催日時

令和8年3月26日（木）午前10時00分～午前11時40分

2 開催場所

宮古市役所5階5-3会議室

3 議題

- (1) 令和7年度産業関連事業の進捗について（資料No.1）
- (2) 国の経済対策に対応した物価高騰対策について（資料No.2）
- (3) 地域経済の動向について（資料No.3-1、資料No.3-2）
- (4) その他

4 会議の概要

別添のとおり

5 問い合わせ先

商工労働観光部 商業振興課 商業振興係 （電話0193-68-9092）

宮古市地域経済活性化連携会議令和7年度第3回委員会 開催結果

- 1 開催日時
令和8年3月26日（木）午前10時00分から午前11時40分
- 2 開催場所
宮古市役所5階5-3会議室
- 3 出席委員（10名）
花坂康太郎、渡辺謙一、佐藤功、大志田憲、佐々木久志、小堀内将文、石原和幸、菊地丙午、上之原良美、盛岩幸恵
- 4 欠席員（9名）
鈴木将人、門坂道弘、中居克広、寺井繫、星野正徳、渡部玲子、早川輝、藤田ルリ子、尾形昌治
- 5 説明出席者
宮古商工会議所 経営支援課長 田中宏和
- 6 事務局出席者（10名）
宮古市商工労働観光部長 小成勝則
 商工労働観光部 商業振興課長 山崎義剛
 商工労働観光部 港湾課長 竹原和彦
 商工労働観光部 観光課 もてなし観光係長 嶋崎愛子
 商工労働観光部 企業立地推進課長 藤田和幸
農林水産部長 飛澤寛一
 農林水産部 農林課長 巖岩邦行
 農林水産部 水産課長 中西秀彦
 商工労働観光部 商業振興課商業振興係長 根市昇、同課主事 上木楓馬
- 7 傍聴者
なし
- 8 議事等
（議事）進行：花坂議長
（1）令和7年度産業関連事業の進捗について
事務局より資料No.1により、産業立市ビジョン実行計画の進捗について説明。
質疑等は下記のとおり。

| 質問・意見 | 回答 |
|---|--|
| I 「うみだす」 （委員） 今年度のホシガレイ陸上養殖の出荷状況はどうか。 | （事務局） 今年度は試験事業として実施。今後は事業として成立するか検討していく。試験養殖した魚は、既に出荷されている。 |

| | |
|--|---|
| <p>(委員) 観光協会では来年度もハシゴずしの開催を予定している。このようなイベントでPRするなど、連携して取り組めればと考えている。</p> <p>(委員) ジビエ処理施設の整備スケジュールはどうなっているか。当初予算には計上されるのか。</p> <p>(委員) ジビエ処理施設の処理能力はどの程度か。捕獲頭数とのバランスはとれるのか。</p> <p>(委員) 処理後の販売先は確保できるのか。</p> <p>(委員) ギンザケの養殖について紹介する。順調に生育しており、今期は80～100tの水揚げを見込んでいる。生産前から3社と契約が成立しており、販売見込みは立っている。</p> <p>II 「うりこむ」</p> <p>(委員) 毛ガニまつりなどのイベント来場者の分布(地元・市外・県外など)は把握しているか。</p> <p>(委員) ふるさと納税の寄付者はこういった用途を希望しているのか。</p> | <p>(事務局) 実施設計は令和7年度に完了。当初計画では、令和8年度整備、令和9年度運用開始を見込んでいた。しかし、国の補助金が確定せず、市の当初予算計上ができていない。農水省の補助金は地方公共団体主体では申請不可。現在は総務省の補助金を検討中。補助金の見通しが立ち次第、予算計上を進める。</p> <p>(事務局) 宮古市の捕獲実績はR7で有害駆除1,560頭、指定管理事業800頭。施設の処理能力は設計上1,500頭規模である。他の自治体の事例を見ると、それ以上の処理が可能と見込む。</p> <p>(事務局) いわてジビエに倣った形で展開してまいりたい。計画では、市内飲食店や宿泊施設などへの供給、市外のホテル、レストランなども見込んでいる。</p> <p>(事務局) 観光協会で来場者アンケートを実施し、誘客施策の実施に活用している。</p> <p>(事務局) 今年1月の寄付実績では、寄附件数3,000件のうち、約2,000件が「市長にお任せ」、次いで子育て環境の充実、震災復興が約350件である。多くの寄付者は「市に任せる」というスタンス。</p> |
|--|---|

| | |
|--|---|
| <p>(委員) 大型客船の寄港について、他地域から羨ましいという声がある。宮古として、周辺地域からの誘客をもっと狙えないか。</p> <p>Ⅲ「はぐくむ」</p> <p>(委員) 就職面談会の求職者数の傾向はどうか。また、求職者に合わせた具体的な対策は検討しているか。</p> <p>(委員) 就職面談会の参加者は、実際にどの程度就職につながっているのか。</p> <p>(委員) Uターン希望者への支援はどうか。仕事以外の住まい・生活面の相談も受けているか。</p> <p>(委員) SNS勉強会について、更新負担が大きく、個店では継続が難しい。入口を一つにし、各個店へリンクさせるなど、負担軽減策は検討しているか。</p> <p>Ⅴ「ささえる」</p> <p>(委員) ものづくりネットワークの今後の方向性について、立ち位置や活動目的を見直す必要がある。形式的なセミナー中心の従来型から、より実効性のある活動へ再構築する方向で考えている。 電子機器分野では、コロナ特需で一時的に需要が急増したものの、中国経済の悪化で需要が落ち込み、現在も回復していない。サプライチェーンや顧客構造が大きく変化</p> | <p>(事務局) ポートフェスタのポスターを作成し、県内の道の駅等に掲示している。今後、SNSでの発信やメディアへの露出など、誘客をさらに強化したい。</p> <p>(事務局) 求職者数自体は大きく変動していない。今後は、仕事内容を実感できる工夫が必要と認識している。具体的な改善策について検討していく。</p> <p>(事務局) 面談会からの成約は数名であり、割合で20%未満。働き方が合わない、希望職種が少ないなどの理由でマッチングが難しい。</p> <p>(事務局) 面談会に市町村ブースを設置し、空き家情報、移住支援制度、生活関連情報なども説明できる体制を整えている。</p> <p>(事務局) SNS勉強会では積極的な更新を基本方針としている。入口を一つにし、各個店へリンクすることは有効であるが、最終的には各個店が情報発信することが不可欠であると認識している。</p> <p>(事務局) 個店の負担が大きいという意見は理解する。今後、講師にも負担の少ない運用方法について助言を依頼していく。</p> |
|--|---|

| | |
|---|--|
| <p>し、発注の不安定化や競争激化が進み、産業全体が非常に厳しい環境に置かれている。</p> <p>ものづくり産業は、コロナ特需の反動や中国経済の低迷、サプライチェーン再編など大きな環境変化の中にあり、従来の延長では対応できない新たな局面に直面している。</p> | |
|---|--|

(2) 国の経済対策に対応した物価高騰対策について

事務局より資料No.2により、1月定例会議にて予算化した物価高騰対策について説明。質疑等は以下のとおり。

| 質問・意見 | 回答 |
|--|---|
| <p>(委員)</p> <p>プレミアム商品券のプレミアム率を、今後20～25%に引き上げる考えはあるか。肌感覚ではあるが、物価上昇率は10%以上と感じている。</p> | <p>(事務局)</p> <p>予算規模、他業種への支援も踏まえ、プレミアム率を設定している。事業終了後に実施するアンケートも参考に検討していく。</p> |
| <p>(委員)</p> <p>プレミアム商品券の発行は、資材経済の活性化に非常に効果がある。事業の継続を強く希望する。</p> | <p>(議長)</p> <p>プレミアム率が高いほど買い占めが発生し、不公平が生じる。広く薄く支援という観点から、10%が適切と考える。</p> |

(3) 地域経済の動向について

宮古商工会議所 田中宏和経営支援課長より資料No.3-1、3-2により、景況調査結果を説明。質疑等は下記のとおり。

| 質問・意見 | 回答 |
|--|----|
| <p>(委員)</p> <p>最低賃金の上昇は最低層だけの問題ではなく、全社員の賃金構造に波及する。5%超の上昇が数年続いたことで、累積負担は非常に大きい。中小製造業では、賃金上昇が経営を直撃している。今後も最低賃金が上がり続けられれば、企業の持続性に影響が出る可能性が高い。</p> | |

(4) その他

今年度最後の開催となることから、事務局員1名ずつ挨拶。